

**2020年7月改訂（第10版、販売名変更）
*2017年9月改訂

日本標準商品分類番号

871319

非ステロイド性抗炎症点眼剤

** プラノプロフェン点眼液0.1%「参天」 **

Pranoprofen ophthalmic solution 0.1%「Santen」

プラノプロフェン点眼液

** 承認番号	30200AMX0059000
** 薬価収載	薬価基準収載
販売開始	1998年7月

貯法：遮光、室温保存、気密容器
*使用期限：外箱及びラベルに記載（3年）

Santen

〔禁忌（次の患者には投与しないこと）〕

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

〔組成・性状〕

販売名	プラノプロフェン点眼液0.1%「参天」
有効成分	プラノプロフェン
含量(1mL中)	1mg
添加剤	ベンザルコニウム塩化物、トロメタモール、pH調節剤
pH	7.5～8.5
浸透圧比	0.8～1.0
性状	無色澄明、無菌水性点眼剤

〔効能・効果〕

外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症）

〔用法・用量〕

通常、1回1～2滴を1日4回点眼する。

なお、症状により適宜回数を増減する。

〔使用上の注意〕

1. 重要な基本的注意

- 1) 本剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
- 2) 眼の感染症を不顕在化するおそれがあるので、感染による炎症に対して用いる場合には観察を十分行い、慎重に投与すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

頻度種類	0.1～5%未満	0.1%未満	頻度不明
過敏症	眼瞼炎、眼瞼発赤・腫脹	接触性皮膚炎	発疹、蕁麻疹
眼	刺激感、結膜充血、そう痒感、眼脂	流涙、びまん性表層角膜炎、異物感、結膜浮腫	—
呼吸器	—	—	気道狭窄

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある女性及び授乳中の女性には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〔妊娠中及び授乳中の投与に関する安全性は確立していない〕

なお、動物実験(ラット)で分娩遅延が認められている。

4. 小児等への投与

低出生体重児、新生児又は乳児に対する安全性は確立していない(使用経験が少ない)。

5. 適用上の注意

- 1) 投与経路：点眼用にのみ使用すること。
- 2) 投与時：薬液汚染防止のため、点眼のとき、容器の先端が直接目に触れないように注意するよう指導すること。

〔薬効薬理〕

次の試験結果により、本剤は標準製剤と生物学的に同等であることが確認された。

<生物学的同等性試験>

- 1) ラットのカラゲニン惹起結膜炎モデルを用いて本剤の抗炎症作用を検討したところ、結膜浮腫の形成を抑制する作用が認められた。本剤及び標準製剤において得られた結膜浮腫重量について統計解析を行った結果、両剤の間で有意な差は認められず、平均値の差の90%信頼区間は $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であった。

	浮腫重量(mg)
本剤	59.5±2.1
標準製剤(点眼液、0.1%)	60.4±1.9

(平均値±標準誤差 n=20)

- 2) ウサギの前房穿刺眼炎症モデルを用いて本剤の抗炎症作用を検討したところ、房水中への蛋白質漏出を抑制する作用が認められた。本剤及び標準製剤において得られた房水中蛋白質濃度について統計解析を行った結果、両剤の間で有意な差は認められなかった。

	房水中蛋白質濃度(mg/mL)
本剤	18.4±1.2
標準製剤(点眼液、0.1%)	17.1±1.3

(平均値±標準誤差 n=30)

